

## 第2回 阿久比町総合計画審議会議事録

1. 議事日程 平成22年2月22日(月) 午後1時30分開会 場所 役場大会議室

1 会長あいさつ

2 町長あいさつ

3 議題

(1) 第5次阿久比町総合計画(基本構想)について(P1~P37まで)

(2) 第5次阿久比町総合計画(基本計画)について

第1章 ずっと住みたい快適なまち(P40~P55まで)

第2章 みどりと共生する安全なまち(P56~P77まで)

第3章 人にやさしい健康・福祉のまち(P78~P103まで)

第4章 人を育てる教育・文化のまち(P104~P127まで)

第5章 活力ある産業のまち(P128~P141まで)

第6章 みんなでつくる参画と協働のまち(P142~P156まで)

(3)その他

2. 出席した委員(16名)

清水裕之	瀬瀬信子	佐治有孝	大村泰敬	海月ルイ	山本澄代
竹内正順	新美正彦	梅川圭司	皆川徳成	北中祥子	竹内俊夫
竹内初成	中嶋 昌	伊藤直人	吉住まり子		

3. 欠席した委員(4名)

知崎明美 杉浦幹夫 竹内幸太郎 新美尚史

4. 出席した町職員(11名)

町長 竹内啓二 副町長 近藤 博 教育長 鳥居久男  
会計管理者 坂部文雄 総務部長 間瀬政好 民生部長 新美純房  
建設部長 竹内規雄 教育部長 瀧塚政明 企画財政課長 竹内昌弘  
企画電算係長 野崎秀幸 主事 河合裕司

5. 出席したその他の者（1名）

株式会社ぎょうせい総合研究所 研究員 伊沢雅史

6. 会議に付した事項

議事日程と同じにつき省略

7. 議事の経過の事項

午後1時30分開会

（進行 総務部長）

1 会長より開会のあいさつ

2 町長あいさつ

（前回欠席者の自己紹介）

3 議題（以下新美会長による進行）

(1) 第5次阿久比町総合計画（基本構想）について  
企画財政課長が中間報告案に基づき説明を行う。

(2) 第5次阿久比町総合計画（基本計画）について  
基本計画の章ごとに所管する各部長が中間報告案に基づき説明を行う。

(3) その他

企画財政課長より意見、要望等の受けと今後の進行の仕方について説明。

<質疑>

竹内正順委員

P104-105について。南部小学校を見ると21年度の児童・生徒数は443人であり、施設面で手狭になってきている。敷地面積が14,109m<sup>2</sup>となっていて一番狭いようだ。立案だけでもよいので一言、南部小学校のことを計画でふれてほしい。それにより南部地区以外の人にもわかってもらえるのではないかと思う。

交通網の関係では阿久比IC周辺の渋滞がひどいので、整備についても書き添えてほしい。

教育部長

南部小学校の件について。これまで、まちづくり懇談会の中でも移転の計画を立ててはどうかという意見があった。児童数に対するグラウンド、校舎等の敷地面積が国（文科省）の基準をはるかに大きく上回っている状況である。移転、新設ということになると費用もかかるため、現在、そのような計画は持っていない。と答弁してきたことから計画ではふれてない。

#### 建設部長

阿久比町は知多半島道路を中心とし、かなり道路整備ができてきた。草木地区については昨年、新企業が進出し、多くの通勤の車があり朝晩のインター付近の渋滞が頻繁にみられる状況である。農免道路のバイパスも今年から着手し、急カーブを解消する整備も進んでいる。現状の道路と新しい道路を合わせて進めたい。まずは、県道や農免道路の整備等に重点を置いて、県等にも要望していきたいと考えている。

#### 梅川圭司委員

計画は全体として非常にまとまっているが、町発展のためには人口増加が大切である。少子化対策が大切で、人の定着を考えなければならないが町には公営住宅がない。人を育てていくという点で、何をやってもお金がかかるが、計画的に行っていくことも必要である。長野県の下條村では小さい村ながらも合理的に行い、公営住宅を建設したことが新聞でも取り上げられている。下條村は山林が多く開拓し、それを原資に住宅を建てた。人を定着させるためにも公営住宅が必要と思う。費用がかかると思うが、建設の考えを入れてもらいたい。

災害時のことを考え、旧字の道路が狭いので計画的な拡幅が必要ではないか。

町の観光の振興、もっと町をPRしてもよいのではないか。全国的に有名な菊花展、お寺が多く於大の方ゆかりの寺院もあるので、こういったものをPRし活性化する必要がある。

#### 民生部長

過疎地等では住民を定着させるために公営住宅を建設することもあるが、本町の場合は、近隣市町に県営住宅もあり町内では民間における開発が盛んに行われ

ている状況であり、この10年間の策定の中で公営住宅を整備していく必要性は無いのではないかと判断している。

梅川圭司委員

民間の住宅は高いので公営住宅の整備を希望していることを理解してほしい。

建設部長

今後、道路の拡幅は皆さんのご協力をいただき順次対応していきたいと考えている。長い年月の中で考えていかなければいけない。

観光に関しては、昨年、知多半島観光圏協議会を設立し、順次整備計画を立て、国の方へも民間の申請手続き等を行っている。それに合わせて、これまで知多半島で武豊町と阿久比町だけ観光協会がなかったが、来年度予算の中にも、観光協会設立に向けての準備をしている状況である。観光振興に取り組んでいく考えである。

瀬瀬信子委員

快適な生活のためには生活道路の整備が必要である。道路の拡幅は大変であり、予算等もあるので、「カーポケット」のような、遊休地や空き地を利用することもよいのではないかと。特に白沢、坂部など旧字では、車がすれ違うことも困難なので、遊休地を利用し、改善するように町で推進してほしい。

これまでは行政が何をしてくれるかを住民が待っている総合計画であったが、これからは住民が何をしたらよいかというような、「協働」が大切である。遊休地を活用するには区長さんと連携して推進するといった啓蒙運動が必要ではないかと思う。

建設部長

借地や買収など様々な問題もあり難しい。集落内の道路は、地区計画で可能なところから、拡幅、整備していくというのが都市計画の基本的な形であるが、皆様の協力を得ながら推進・整備していきたいと思う。

吉住まり子委員

P142に「みんなで作る参画と協働のまち」とあり、総合計画の大きなテーマが「協働のまちづくり」ということなので成果目標には他に「参画共同事業の数」等も記載してはどうかと思う。これだけではさびしい気がする。

総務部長

この部分の成果目標を決めるのが大変難しかったこともあり結果的にはこのような2点になってしまった。今のご提言を参考にいろいろな事業も探し、入れたいと思う。

伊藤直人委員

P53「(4) 緑化運動の展開」は主要事業のどこに反映されていくのか。

P61「(3) リサイクル製品などの利用促進」は主要事業のどこに反映されていくのか。

P65「(3) 下水道事業の健全運営」の「使用料の適正化」とは値上げということか。

P81「成果目標」の中の「子ども相談支援センターの利用者数」とは、どのような事業の利用者数なのか。

P85「主要事業」の中の「地域包括支援センターの充実」で事業主体は町と成年後見センターとあるが、「成年後見センター」とはどういったものか。

P116「成果目標」の中の「生きがい教室・講座受講率」の分母は何か。

P116「生涯学習事業参加者数」の「事業」、「図書館図書1人当たり貸出冊数」の「図書館図書」の下の波線はどういう意味か。

P155「(2) 健全な財政運営の確立」の中の「使用料・手数料の適正化」とは値上げということか。

建設部長

P53「(4) 緑化運動の展開」については、特に緑化運動としての主要事業はあげていない。

#### 会計管理者

P61「(3) リサイクル製品などの利用促進」についての主要事業としては、ごみ減量化の3R運動の推進ということで考えている。

P61「下水道事業の健全運営」の「使用料の適正化」は、時代と共に変化するものなので、値上げもあるかもしれない。

#### 民生部長

P81「子ども相談支援センターの利用者数」については、支援センターに来た年間の延べ人数となっている。その中には子育て相談等も含まれているが、単純に施設内で子どもと遊ぶといった数も含まれている。

P85の「成年後見センター」については「地域包括支援センターの充実」とは関係ないため、事業主体からは外すということで訂正する。「成年後見センター」とは、自己判断が難しい高齢者の変わりに効率的な法律行為等を行う「成年後見制度」があり、身寄りがいない高齢者に対しては、町長が申立人となり権利を擁護していくための施設である。

#### 教育部長

P116「生きがい教室・講座受講率」の分母は受講の申込者である。

#### 総務部長

P155「(2) 健全な財政運営の確立」の中の「使用料・手数料の適正化」については、一概に値上げということは考えていない。その時その時の原価計算に基づいた受益者負担の適正化に努めていくということである。

#### 清水裕之委員

阿久比町は環境に恵まれている。どのようにしてその環境を生かし、魅力をつくっていくかということについて考えた。特徴的な阿久比川を中心に輪で囲まれた街、景色は日本でも非常に少ないと思う。オランダの都市計画の本に「グリーンハート」という言葉があった。大きな町が農地を中心に回りにぐるっと建ち並び50年以上守っている。そこで「阿久比町グリーンハート」という名称を提案し

たい。この表現で、阿久比川の景観がとても良くわかるし、今後の整備方針の整理などができるのではないかと思う。

これからは開発と保全がとても難しくなると思う。「成長管理政策」という言葉が世界的にも言われているが、これはあまり勝手にやってもらいたくないが、上手く展開していくための整備を計画的に行うということで、できるだけコンパクトなまちづくりを考えていくことが必要ですので、そのような言葉をうまく使うと良いと思う。具体的な少しまとまりのある言葉を計画中に使用するとよいと思う。

控えめに書いてあるが、役場の耐震化について一番心配している。少なくとも危機管理上よろしくないので庁舎の建設は早期にしたほうがよいと思っている。

新美正彦会長

阿久比川の浄化については任意の団体の方々が活動している。かつては泳ぐことができたが現在はそのような状態ではない。ただ、最近では魚がもどってきた。さらに水をきれいにするために様々な方からご協力を得て、これからも浄化事業を進めていきたいと思っている。

事務局 企画財政課長

この計画は6月までにまとめたと思っている。「基本構想」、「基本計画」について説明をしたが、皆さんの意見をいただきより良い計画にしていきたいので、まだ発言されていない方は、是非、事務局まで意見・要望を伝えてほしい。

次回審議会開催日時：平成22年8月24日（火） 午後1時30分より  
大会議室で予定。

午後3時57分閉会

阿久比町総合計画審議会運営規則第5条第3項の規定により、ここに署名する。

阿久比町総合計画審議会

会 長 新 美 正 彦